

令和 7 年度におい・かおり環境協会賞の表彰者について

公益社団法人 におい・かおり環境協会
表彰委員長 樋口能士

本年度の表彰者は、運営検討会議、編集委員会、技術賞選考部会及び文化賞選考部会から推薦された方について、表彰委員会で審議のうえ候補者を選定し、理事会の了承を得て、以下の方々に決定いたしました。

功労賞

本協会の発展に貢献もしくはにおい・かおりに関する分野において特に優れた功績を認められた個人に贈呈することとし、受賞対象者は50歳以上の者とする。

朝居 健 氏（税理士法人朝居会計 会長）

〔受賞理由〕

朝居健氏は、20年以上に渡り会計業務等において当協会運営に対し助言をいただいている。平成21年からは、当協会の監事に就任いただき、15年に亘り、会計業務のみならず公益法人としての適正な運営の面からも、当協会事業に対して経営的な視点から多大な助言をされてきている。

学術賞

におい・かおりに関する一連の論文、著作等、学術的研究成果が特に優れた個人に贈呈する。

岡本 雅子 氏（東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授）

〔受賞理由〕

岡本雅子氏は、東京大学大学院農学生命科学研究科において、においに関する革新的な研究を進めてこられた。特に、においと脳機能の関係について、世界的に注目される成果を挙げている。その中でも「何のにおいであるかを思って嗅ぐことで一次嗅覚野の活動が変化する」、「においの質や快・不快が脳でどのように処理されるか」、「自閉スペクトラム症の嗅覚処理における脳波評価」といった研究は、におい研究分野に新たな知見をもたらした。

また、学会活動にも積極的に貢献され、第36回においかおり環境学会では特別講演「脳計測を用いたヒトの匂い知覚の研究」を行い、学会誌48巻4号では「ヒトにとってのにおいの意味」を執筆され、さらには第37回においかおり環境学会においては嗅覚情報の可視化をはじめとした研究成果を体験も含めて見学する機会を設け最新の研究成果をご紹介いただくなど、学会の発展に寄与されている。

技術賞

におい・かおりに関する調査、分析又はにおい対策技術、かおり活用技術等に関して顕著な貢献があったと認められた個人、法人、団体・グループに贈呈する。

LECO ジャパン合同会社

〔受賞理由〕

LECO ジャパン合同会社は、様々な生活空間で感じるにおいに焦点をあて、におい寄与成分把握のため GC-TOFMS を用いて多くの研究を実施されてきた。自動車室内や食品、飲料などの特有なにおいを形成している重要な微量成分について捕集方法、分析条件、解析手法を検討されてきた。これにより今まで報告されていなかったにおい寄与成分を解明することが可能となり、捕集方法の工夫や GC x GC など高性能機器によるアプローチ、統計的解析等の検討が進んだ。

さらに、におい・かおり環境学会の機器展示に5年連続して出展するなど、においの分析評価について法人会員としても多大な貢献をいただいている。

文化賞

良好なにおい・かおり環境の創造や、かおり文化の普及などに顕著な貢献があったと認められた個人、法人、団体・グループに贈呈する。

新村 芳人 氏（宮崎大学 農学部 獣医学科 教授）

〔受賞理由〕

新村芳人氏は、東京大学農学部の准教授時代より、生物の嗅覚の進化、人や動物のにおいに関する世界的な研究者の一人であり、においに関する著書も多数出版されている。また、長年テレビ、新聞、雑誌など多くのメディアで、一般の方向けににおいと嗅覚の関係を分かりやすく解説をされていたり、全国の中学や高校などでの講演活動やにおいの研究のアドバイスもされていたり、においや香りへの関心を高める社会活動を実施されている。

奨励賞

におい・かおりに関する研究業績が、独創的又は萌芽的であり将来性に富むと認められた個人に贈呈することとし、受賞対象者は40歳以下の者とする。

崔 ナレ 氏（大阪大学 大学院工学研究科 准教授）

〔受賞理由〕

崔ナレ氏は、建築環境および建築設備の分野において「におい・かおり」に関する優れた研究論文を数多く発表されている。特に、においの繰り返し曝露と順応過程に関する基礎的研究を基に、かおりが室内環境および学習効率に及ぼす影響を検討した研究においては、におい・かおりの新たな利用可能性を広く提示するものであり、将来の発展に向けて大いに期待される。崔氏はここ数年、におい・かおり環境学会でも多くの論文を発表されており、本分野の次世代を担うキーパーソンである。

グッドプラクティス賞

臭気対策の優良事例やにおい・かおりによるまちづくり事例など、具体的な実践例により社会貢献があったと認められた個人、法人、団体・グループに贈呈する。

有限会社月桃農園

〔受賞理由〕

有限会社月桃農園は平成9年に設立され、長年、沖縄を代表する芳香植物である月桃を農薬を使わず、化学肥料を使わずに農林水産省の有機JASの規準に従って栽培を行っている。同社では月桃の葉の搾汁、乾燥、水蒸気蒸留などの一次加工を行い、日本月桃株式会社へ中間原料として供給しているが、同社で製造する月桃精油は月桃の生葉160kgから50mLほどしか取れない希少なものである。沖縄県うるま市の浜比嘉島に畑がありますが、同社のWebサイトでは、月桃の栽培から、収穫、茎と葉の分離作業や水蒸気蒸留、精油分離などの工程を分かりやすく説明されており、沖縄だけでなく日本各地からの見学希望者も受け入れており、沖縄の特有の月桃の香りを全国に啓蒙する役割を担っている。

永年在籍表彰

長年協会の活動を支援してこられた会員に感謝の意を表するため、通算30年以上在籍した個人会員または法人会員に贈呈する。なお、個人会員の永年在籍表彰受賞者は70歳になった年度の翌年度から会費の納入を免除される。

今年度の表彰者は、営利法人会員5社、公益法人会員1機関、賛助法人会員1社、個人会員9名となります。会員名の公表可のリストは以下のとおりです。

会員区分	会員名（入会日順）
営利法人会員	株式会社 秋田県分析化学センター 株式会社 東海分析化学研究所 株式会社 山梨県環境科学検査センター 株式会社 東洋技研 日本エクスラン工業株式会社
公益法人会員	一般財団法人上越環境科学センター
賛助法人会員	アース製薬株式会社
個人会員	樋口 能士
〃	樋口 隆哉
〃	緑川 勝司
〃	吉栄 康城
〃	高野 岳
〃	小坂 芳雄
〃	小野 将